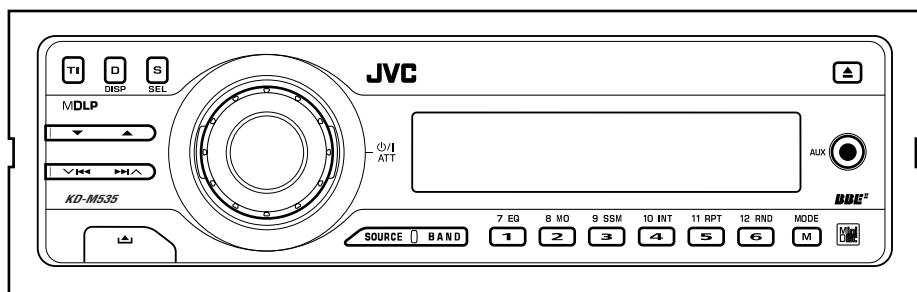
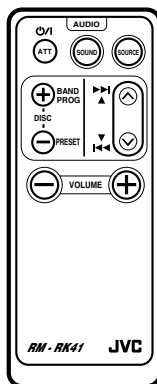


MDLP対応MDレシーバー

型名 KD-M535



MDLP **BBE^{II}**



〈お知らせ〉

- お買い上げ時は、コントロールパネルが本体から外れています。**34**ページの「コントロールパネルの着脱」をご覧ください、本体に取り付けてください。

— お買い上げありがとうございます —

⚠ご使用前に

この「取扱説明書」と別紙の「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

もくじ

| | ページ | | ページ |
|--------------------------|-------|--------------------------------|-------|
| ●安全上のご注意 | 3~5 | ●CDチェンジャー(別売り)のCDを 聞く | 22~25 |
| ●使用上のご注意 | 6~7 | ・全曲演奏(全CDのくり返し演奏) | 22 |
| ・MDの取扱いについて | 7 | ・曲(ファイル)の頭出し/早送り・早戻し .. | 23 |
| ●各部の名前 | 8~9 | ・数字ボタンでCDを選ぶ | 23 |
| ●リモコンの使いかた | 10~11 | ・10曲ずつ選ぶ(MP3チェンジャーのみ) .. | 23 |
| ・リモコンの使いかた | 10 | ・次または前のフォルダにスキップする | 23 |
| ・電池の入れかた | 10 | ・リピート演奏(くり返し演奏) | 24 |
| ・各部の名前 | 11 | ・ランダム演奏 | 24 |
| ●基本操作 | 12 | ・イントロスキャン | 25 |
| ●時計を合わせる | 13 | ・CD演奏中の表示内容を変える | 25 |
| ●ラジオを聞く | 14~17 | ●他の機器の音を聞く | 26 |
| ・放送局を選ぶ | 14 | ・LINE IN端子を使うとき | 26 |
| ・放送局を自動でメモリー(記憶)させる | 14 | ・フロントAUX端子を使うとき | 26 |
| ・放送局を選んでメモリー(記憶)させる | 15 | ●SELボタンを使って設定を 変える | 27~29 |
| ・放送局を呼び出す(プリセット選局) | 15 | ・各モードの機能説明 | 28 |
| ・道路交通情報を聞く | 16 | ●文字の入力のしかた | 30~31 |
| ・FM放送が雑音で聞きにくいときは | 16 | ・文字の入力と修正・削除 | 30 |
| ・放送受信中の表示内容を変える | 17 | ・文字配列表 | 31 |
| ・アンテナリモートについて | 17 | ●音量・音質の調節 | 32~33 |
| ●MDを聞く | 18~21 | ・EQボタンで音質を選ぶ | 33 |
| ・MDを挿入するときは | 18 | ・EQのメモリー内容を変える | 33 |
| ・曲の頭出し/早送り・早戻し | 18 | ●コントロールパネルの着脱 | 34 |
| ・長時間ステレオ再生について | 18 | ・コントロールパネルを外す | 34 |
| ・グループ機能について | 19 | ・コントロールパネルを取り付ける | 34 |
| ・ダイレクト演奏 | 19 | ●お手入れ | 35 |
| ・リピート演奏(くり返し演奏) | 20 | ・本体の清掃 | 35 |
| ・ランダム演奏 | 20 | ●放送局名一覧 | 36~39 |
| ・イントロスキャン | 20 | ●故障かな?と思う前に | 40~41 |
| ・MD演奏中の表示内容を変える | 21 | ・こんな表示のときは | 41 |
| ・MDを取り出す | 21 | ●保証とアフターサービス | 42 |
| ・MDの盗難防止 | 21 | ●主な仕様 | 43 |

安全上のご注意

—はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意



手をはさまれないよう注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止

行為を指示する記号



一般的指示

安全上のご注意(つづき) –はじめにお読みください–

警告

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。



- ・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

車内に飲みかけのパック飲料等を放置しない。



水ぬれ禁止

- ・カップホルダーの取付位置によっては、こぼれた飲料が本機の内部に入り発煙や発火・故障の原因となります。

事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する。



- ・万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておく。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

車両電源配線用コード以外で延長しない。



- ・コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電源容量オーバーにより火災の原因となります。

音が出ないなどの故障や異常のままで使用しない。



- ・万一、故障や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど)が起これば、すぐに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

本機を分解したり、改造しない。



分解禁止

- ・事故・火災・感電・故障の原因となります。

自動車を運転中に音量調節等の操作をしない。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

⚠ 注意

本機の通風孔や放熱板をふさがない。



- ・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

指定の電池以外は使用しない。



- ・電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する。



- ・車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

電池をリモコン内に挿入する場合は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、内部の表示通りに入れる。



- ・間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

ディスク挿入口に異物を入れない。



- ・火災や感電・故障の原因となることがあります。

リチウム電池を廃棄するときは、電池に絶縁テープ等を張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄する。



- ・他の金属片等と、そのまま一緒に廃棄するとショートして発火、破裂の原因となることがあります。

ディスク挿入口に手や指を入れない。



- ・けがの原因となることがあります。

手をはさまれないよう注意

電池をショートさせたり、分解や加熱をしたり、火や水の中に入れない。



- ・電池の破裂、液もれにより火災やけがの原因となることがあります。

本機を車載用以外には使用しない。



- ・感電やけがの原因となることがあります。

使用上のご注意

●本機はDC12V、マイナスアース専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。

●スピーカーはアンプの出力(1チャンネル当たり45W)に対し、入口に十分余裕のあるもの、インピーダンス4Ω～8Ωのものをお使いください。

●次のような場所は避けて取り付けてください。

- ・直射日光の当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける所など、温度が極端に高くなる場所
- ・雨が吹き込む所や水がかかったり、湿気が多い所
- ・ほこりの多い所

●安全運転のために…

- ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また**操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。**
- ・ステレオの音量は、お客様の心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

●車内の温度は…

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後、MDを聞くときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。
(使用温度範囲：0℃～+40℃)

●LCD表示(表示窓)について

極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これはLCDの特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。

●バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。

●結露(つゆつき)について

次のような場合、本機のレンズなどが結露してMDが正常に演奏できないことがあります。

- ・エアコン(暖房)を入れた直後
- ・湿気が多いとき

このようなときは、電源を入れたまま約1～2時間待ってからお使いください。

●海外での使用は…

本機は日本国内用です。海外での使用はできません。

●スピーカーコードの接続について

本機はBTL*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ず別冊の取付説明書の通りになしてください。

既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードの \ominus 側が車の金属部に接続されていたり、 \ominus 側同士が接続されていると故障の原因になります。

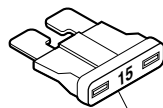
*BTL：Balanced Transformerlessの略

2組のパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

●ヒューズの交換について

本機のヒューズは15A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

また、15Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



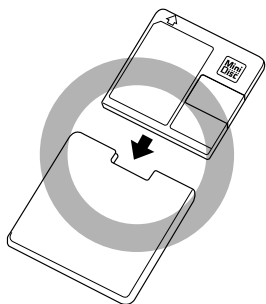
ヒューズ(15A)

●携帯電話を使用する場合は…

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。ただし、運転中に携帯電話を使用すると、法律により罰せられます。

MDの取扱いについて

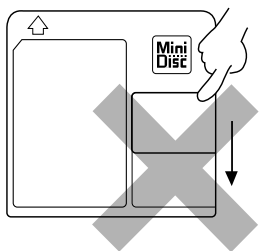
● MDを保管するときは



MDを本機から取り出して専用ケースに入れ、直射日光の当たる所やダッシュボードの上などは避けて保管してください。

MDが変形すると、故障の原因となります。

● MDのシャッターについて



MDのシャッターは、開けられないようになっています。無理に開けると、MDが破損する原因となります。

● MDにラベルを張ってお使いになる場合

ラベルは、はがれないように端の方までしっかりと張りつけてください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままお使いになると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

● 長時間MDを使用しないときは、必ず本機から取り出しておいてください。

● 定期的にお手入れを

MDがほこりやゴミで汚れたときは、乾いたやわらかい布でふき取ってから使用してください。

各部の名前

— ()内のページに説明があります。—

電源/ATTボタン (→12)
電源の「入」↔「切」ができます。

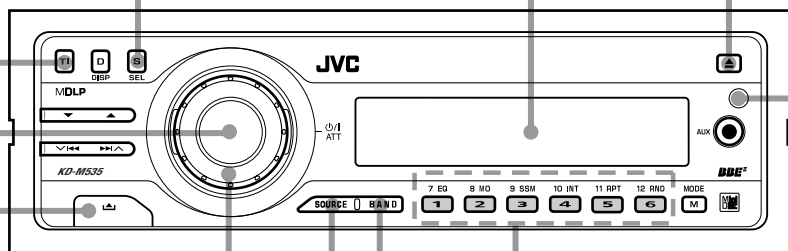
リモコン受光部
付属のリモコン(RM-RK41)の信号
をここで受信します。(→10)

TIボタン (→16)
道路交通情報を聞くと使います。

SELボタン (→13, 27, 32)
音量・音質調節のモードが選べます。
2秒以上押し、時計合わせなどの
各種設定モードになります。

**▲ (MD取出し) ボタン
(→18, 21)**

表示窓 (ディスプレイ)



**回転ボリューム
(→12, 27, 32)**
音量調節や各種の設定が
できます。

SOURCEボタン*
(→12, 21, 22, 26)
ソース(音源)を「ラジオ」にしたり
「MD」または「CDチェンジャー」、
「LINE IN」、 「AUX IN」にすること
ができます。

BANDボタン (→14)
FMまたはAMの聞きたいバンドを
選ぶことができます。

数字ボタン
・「MD」「CDチェンジャー」のとき：
1～12が機能します。(→19, 23)
・「ラジオ」のとき：
1～6が機能します。(→15)

▲ (コントロールパネル取り外し) ボタン (→34)

*印のボタンは電源を「入」にすることもできます。

◀▶ボタン/選局ボタン(▽、△)

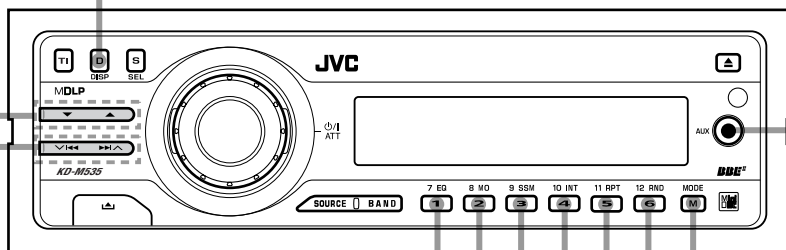
- 「MD」「CDチェンジャー」のとき：
曲の頭出しや早送り、早戻しができます。(➡18、23)
- 「ラジオ」のとき：
放送局を選局するとき使います。(オート選局/マニュアル選局) (➡14)

▲、▼ボタン

- 「MD」「CDチェンジャー」のとき：
「MD」の場合、グループスキップができます。(➡19)
「MP3チェンジャー」の場合、次または前のフォルダにスキップすることができます。(➡23)
MODE ボタンと併用すると、前後10曲の頭出しができます。(➡19、23)
- 「ラジオ」のとき：
プリセット選局ができます。(➡15)

ディスプレイ

DISPボタン(➡17、21、25、30)



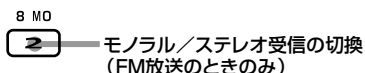
数字ボタン (MODEボタンを押したあとの働き)

「MODE」表示が点滅中に操作します。

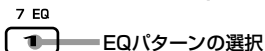
- 「MD」「CDチェンジャー」のとき：
(➡20、24、25)



- 「ラジオ」のとき：(➡14、16)



- ソースに関係なく：(➡33)



モード MODEボタン

数字ボタンの働きを一時的に変えることができます。

(➡14、16、20、24、25、33)

▲、▼ボタンの働きも一時的に変えられます。

(➡19、23)

フロントAUX端子

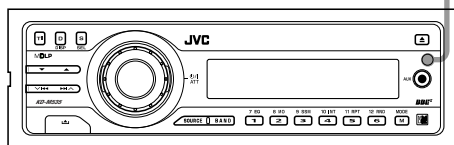
(➡26)

リモコンの使いかた

リモコンの使いかた

- リモコン受光部に正しく向けてボタンを押します。
- 操作範囲は受光部正面より約±30°の範囲ですが、斜めから操作すると受信しにくくなります。
- 受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。また受光部の前に障害物を置かないでください。(動作しないことがあります)
- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池(CR 2025:市販品)と交換してください。

リモコン受光部

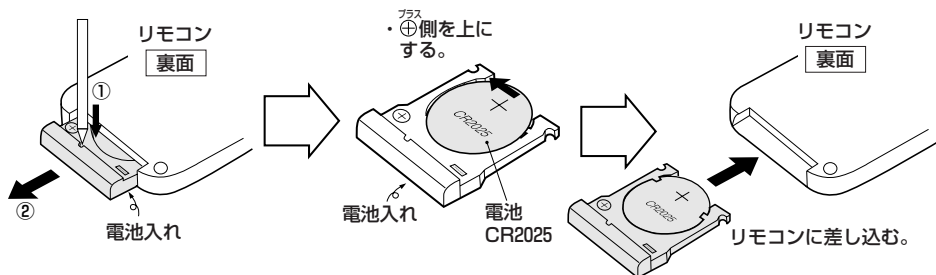


ご注意

- 長時間直射日光が当たる場所(ダッシュボードの上など)に、リモコンを置かないでください。変形や故障の原因となります。

電池の入れかた

ボールペンなどを電池入れの溝に入れて引き出す。



● 電池の交換時期(目安)は…

リモコン操作のできる距離が短くなったり、動作が不安定になってきたときは、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。

使用済みの電池は、絶縁テープなどを張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。

各部の名前

電源/ATTボタン

1秒以上押しと電源の「入」↔「切」ができます。「ポン」と押しと音量を一時的に下げることができます。

ディスク
バンド
DISC+/BAND
ボタン

- ・「ラジオ」のとき：バンドが選べます。
- ・「MD」のとき：グループ分けされているMDに限り、次のグループの頭にスキップできます。
- ・「CDチェンジャー」のとき：CDが選べます。
プログラム
(PROGの機能はありません)

プリセット
DISC-/PRESET
ボタン

- ・「ラジオ」のとき：プリセットしてある放送局(1ch～6ch)の選局ができます。プリセット選局になります。
- ・「MD」のとき：グループ分けされているMDに限り、今のグループの頭にスキップできます。押しごとに前のグループの頭にスキップできます。
- ・「CDチェンジャー」のとき：CDが選べます。

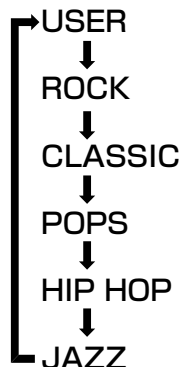
ボリューム
VOLUME+、-(音量)ボタン

音量の調節ができます。

- ・+：音量が上がります。
- ・-：音量が下がります。

サウンド
SOUNDボタン

EQパターンがダイレクトに選べます。

ソース
SOURCEボタン

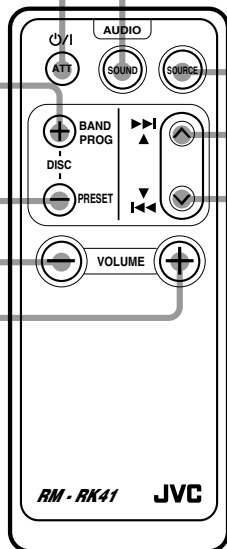
ソース(音源)を選ぶとき使います。押しごとに



と変わります。ただし本体にMDが入っていなかったりCDチェンジャーが接続されていないときは「MD」と「CD-CH」は表示されません。

▶▶/△、◀◀/▽ ボタン

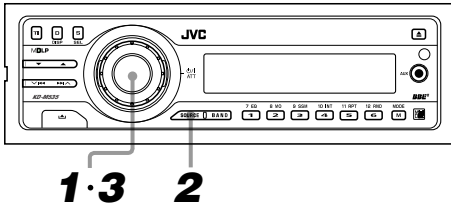
- ・「ラジオ」のとき：オート選局(SEEK)ができます。
- ・「MD」と「CDチェンジャー」のとき：曲(ファイル)の頭出しや早送り、早戻しができます。
(▲と▽の機能はありません)



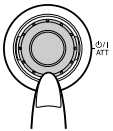
基本操作

準備

- 車のエンジンをかける。本機は、エンジンキーが「OFF」またはACC「OFF」の状態では電源を入れることができません。

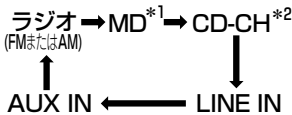
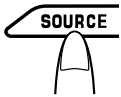


1 電源を入れる



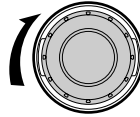
・「WELCOME!」が表示され、電源を切る前のソース(音源)…お買い上げ時はFM1…が表示されます。

2 ソース(音源)を選ぶ



- * 1 本機にMDが入っているとき選べます。
- * 2 CDチェンジャーが接続されているとき選べます。

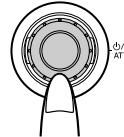
3 音量を調節する



・調節範囲
VOL 00 ~VOL 50
(初期設定 VOL 15)

- 音量を一時的に下げる
●(電源)/ATTボタンを「ポン」と押すと、「ATT」が点滅表示され音量が下がります。もう一度押すと元の音量に戻ります。

●電源を「切」にする



- (電源)/ATTボタンを1秒以上押します。「SEE YOU!」が表示され電源が切れます。このとき、車のエンジンキーが「ACC」または「ON」のときは、本機のVOLリングのイルミネーションが薄く点灯します。

●車のエンジンキーが「OFF」のときでも次のボタンは、操作できます。

- ・▲(MD取出し)ボタン… MDの出し入れ
- ・DISPボタン… 5秒間時計表示

ただし、これらのボタンで電源を入れることはできません。

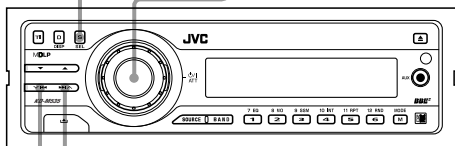
〈お知らせ〉

- ▲(MD取出し)ボタンは、電源「切」のときも操作できますがソース(音源)は切りかわりません。
- 音量・音質の調節は32~33ページをご覧ください。

時計を合わせる

時計を合わせる

1・4 3-1・3-3



2・3-2

1 SEL を2秒以上押す



- ・お買い上げ時は「CLOCK H」が表示されます。
→手順3へ進む
- ・これ以外のときは、選ばれているモードが表示されます。

・2秒以上押す。

15秒以内に

2 (または クロック アワー) を数回押して「CLOCK H」を選ぶ



逆へ選べます。

→ CLOCK H

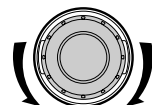
15秒以内に

3 と で現在時刻に合わせる

例：7時30分に合わせる
(12時間表示方式です)

3-1 「時」を7に合わせる

「時」表示



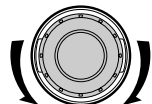
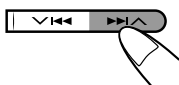
「時」を戻す 「時」を進める



1秒ごとに点滅

3-2 「CLOCK M」を選び…

3-3 「分」を30に合わせる



「分」を戻す 「分」を進める

15秒以内に



4 SEL を押す

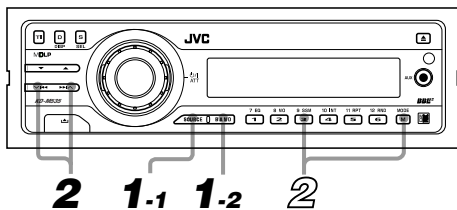
- ・元のソース(音源)の表示に戻ります。
SELボタンを押さないときは、15秒後に元のソース(音源)の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- 本機の時計は、月に1分程度のズレを生じることがあります。
- 時刻を合わせ直すときも手順1~4の操作をします。
- SELボタンを使ってその他の設定を変更したいときは、27~29ページをご覧ください。

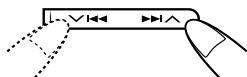
ラジオを聞く

1 ソース(音源)を「ラジオ」にしてから **BAND** を押してバンドを選ぶ



放送局を選ぶ

2 **▶◀** (または **◀▶**) を押して選局する(4 ケタ表示部の時計表示が周波数表示になります)



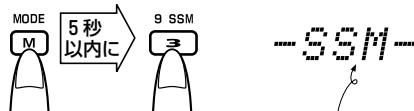
周波数が下がる。 周波数が上がる。

- **オート選局**: 「ポン」と押して離す。(シーク) 本機が自動で放送局を探し、受信すると停止します。
- **マニュアル選局**: 1秒以上押して「M」を表示させたあと、「ポン・ポン」と押して選局する。
 ・ **FM**は0.1 MHz、**AM**は9 kHzずつ変わり、押し続けると連続して変わります。

放送局を自動でメモリー(記憶)させる

—SSM(ストロングステーションメモリー)機能—

2 **MODE** を押したあと5秒以内に **▶** を1秒以上押す



- ・「MODE」が表示されま
- ・1秒以上押す。
- ・本機が自動で電波の強い放送局を数字ボタンの **1** ~ **6** にメモリーしていきます。

—SSM—
 終わるまで表示されます。

- メモリーし終わると数字ボタン **1** に記憶された放送局が表示されます。
- バンドごとに6局ずつメモリーされます。

〈お知らせ〉

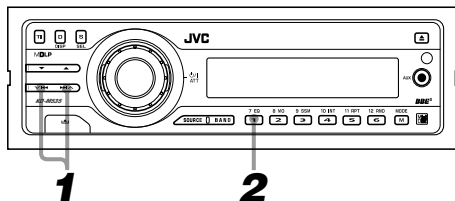
- ソース(音源)を「ラジオ」にするとFM放送は **FM1** または **FM2**、AM放送は **AM1** または **AM2** が表示されます。
- 受信状態が悪いと、オート選局が自動停止しないことがあります。
- マニュアル選局のモードは、選局の操作を止めてから5秒後に自動で解除されます。
- AM放送はモノラル受信です。

〈お知らせ〉

- **SSM**機能を使うと、すでにそのバンドにメモリーしてあった放送局は取り消されます。
- 放送局が6局より少ないときは、前のメモリー内容が残ります。
- 受信状態が悪いと、うまくメモリーされないことがあります。よく受信できる所へ移動してから操作してください。
- 放送を聞くときは、**プリセット選局**が利用できます(⇒15ページ参照)。

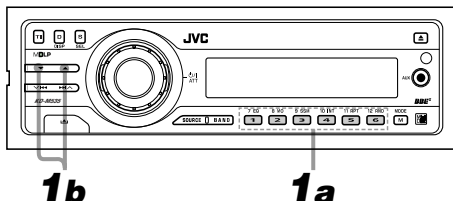
放送局を選んでメモリー(記憶)させる

SSM機能を使って自動でメモリーされるほかに、放送局を選んでから数字ボタンにメモリーしておくこともできます。



放送局を呼び出す(プリセット選局)

数字ボタン(1~6)にメモリー(記憶)されている放送局がワンタッチで選局できます。



例：FM放送の81.3MHzを **1** ボタンにメモリーする

1

▶▶ (または **◀◀**) でFM 81.3MHzを選局する

→14ページの「オート選局」または「マニュアル選局」参照

2

 数字ボタンの **1** を2秒以上押し


・2秒以上押し。 押した数字ボタンと同じ数字が点滅表示されると、メモリーされます。これをマニュアルプリセットといいます。

- 数字ボタンのメモリー順を変えたり、新しい放送局を追加するときなどに使うと便利です。

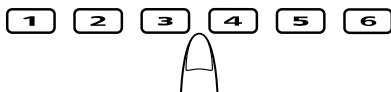
〈お知らせ〉

- この操作はSSM機能で放送局をメモリーした後にしてください。あとからSSM機能を利用すると、取り消されることがあります。
- 数字ボタンは必ず2秒以上押し続けてください。短いとメモリーされません。

1a

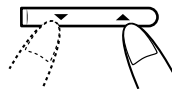
 数字ボタン(1~6)を押して選局する

(プリセット選局といいます)



- 数字ボタン(1~6)にメモリー(記憶)されている放送局がワンタッチで選局できます。
(数字ボタンは2秒以上押し続けないでください)

1b

▶ (または **◀**) を押し選局する


プリセット P6→P5……→P1 プリセット P1→P2……→P6

の順に選局できます。 の順に選局できます。

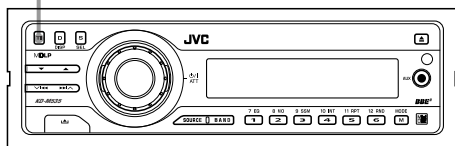
ご注意

- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、メモリー(記憶)した放送局は取り消されます。また時刻表示は1:00に戻ります。電源を接続したらもう一度設定し直してください。

ラジオを聞く(つづき)

道路交通情報を聞く

1



1 TI を押す



T I → TI 1620

高速道路などの特定地域では、AM1620kHzで道路交通情報を聞くことができます。聞きたいところでTI* ボタンを押すと、ソース(音源)に関係なくAM1620kHzが受信できます。

● AM1629kHzで道路交通情報を行っている地域するとき

AM1620kHz受信中に (または)を押すと、AM1629kHzが受信できます。

もう一度 (または)を押すと、AM1620kHzの受信に戻ります。

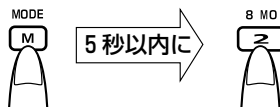
- TIボタンを押して放送を聞いている状態では、放送局名を表示させることはできません。
- このモードのときはボリュームが独立しておりますので、聞きやすい音量に調節してお使いください。もう一度押すと元のソース(音源)に戻り、音量も元に戻ります。

*TIとは…

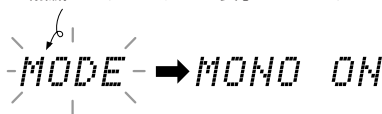
トラフィック インフォメーション
Traffic Information(交通情報)の略です。

FM放送が雑音で聞きにくいときは

FMステレオ放送受信時に、電波状態が悪くて雑音が多いときは、FM放送を「MONO ON」に切換えます。



「MODE」表示 (レベルメーターがカウント) が点滅します。(ダウン表示になります。)

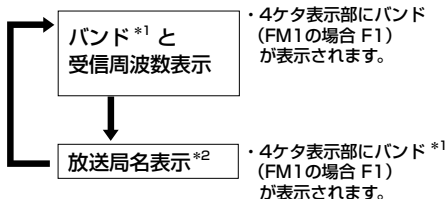


表示窓に「MO」が表示され、モノラル受信モードになり聞きやすくなります。電波状態が良くなったらもう一度同じ操作で「MONO OFF」に切換えます。FMステレオ放送を受信すると「ST」が表示されます。

放送受信中の表示内容を変える



DISPボタンを押すと、表示内容を変えることができます。



*1 プリセット選局で受信しているときは、プリセット番号が表示されます。

*2 「SELボタンを使って設定を変える」のSTATIONで「ご利用の地域を選ぶ」の操作(⇒27、28ページ参照)をすると表示されます。

ご利用の地域を設定する前は「^ベ ^{ネーム} NO NAME」が表示されます。なお、放送局名はスクロール表示されません。

〈お知らせ〉

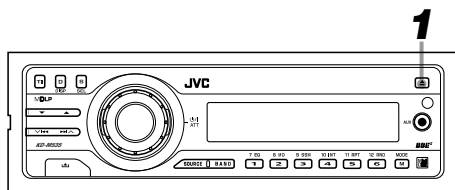
- 放送局名を自分で入力するときは「文字の入力のしかた」(⇒30ページ)をご覧ください。
- 放送局名を一度入力すると、バンドを変えてその周波数を選局しても同じ放送局名が表示されます。

アンテナリモートについて

- 電動アンテナ装備車およびアンテナプースター装備車の場合は、アンテナコントロール電源コードを車両側の対応する端子(アンテナコントロール)に接続してください。ソース(音源)を“ラジオ”にすると自動的にアンテナ(プースター)側に電源が供給されます。“MD”や“CD-CH”にソース(音源)を切換えると、自動的にアンテナ側への電源が切れます。

(アンテナコントロール電源コードの最大コントロール電流は250mAです)

MD を聞く

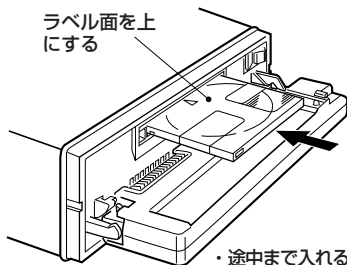


1 ▲ (MD取出し)を押す



・コントロールパネルが開いてMDの挿入口が現われます。

2 MDを入れ、コントロールパネルを閉める⇒ソース(音源)が「MD」になり演奏がスタート



・途中まで入れると自動で引き込まれます。

・パネルを閉めた直後は、「-- PLAY」が表示されMDのデータを読み込んでいます。終わると曲番号表示に変わり、1曲目から演奏がスタートします。

・ソース(音源)を表す **MD** が表示されます。
 ・MDが入っていることを表す **MD** が表示されます。

● MD演奏中に電源を切ったときは電源を入れると、電源を切ったところから自動的に演奏がスタートします。

MDを挿入するときは

- 故障を防止するため次のことを確認してください。
 - ・ラベル面を上にする。
 - ・挿入方向を表す **▶** や **▶** の表示に従って本体に入れる。
 - ・無理に押し込まない。
(途中まで入れると自動で引き込まれます)
 - ・ラベルのはがれかかったMDは使用しない。

曲の頭出し／早送り・早戻し



曲の頭出し
(スキップ)

▶▶ : 押すごとに次の曲の頭に移ります。

◀◀ : 演奏中の曲の頭に戻ります。押すごとに前の曲の頭に戻ります。

早送り・
早戻し
(サーチ)

▶▶ : 押し続けている間早送りされます。

◀◀ : 押し続けている間早戻しされます。

演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。

長時間ステレオ再生について

本機はMDLPに対応しています。音声データを高精度圧縮技術ATRAC 3で録音済みのMDの場合、LP 4モードは最長320分、LP 2モードは最長160分の長時間ステレオ再生が可能です(MD80使用時)。LP 2またはLP 4で録音したMDを演奏すると、表示窓に「**LP2**」または「**LP4**」が表示されます。MDLPに対応していないMDレコーダーで録音したMDは、SPを表示しませんが標準モードで再生されます。

グループ機能について

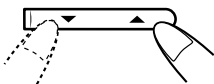
ミニコンボなどでステレオ長時間録音(MDLP)するとき、収録曲をCDごとやアーティストごとなど、いくつかのグループに分けておくと素早く選曲できます。

・グループごとに録音した例

| グループ1 | グループ2 | グループ3 |
|-------|-------|-------|
| 曲番号 | 曲番号 | 曲番号 |
| 1 2 3 | 4 5 6 | 7 8 |

●聞きたいグループを選ぶ

▲(または▼)ボタンを押すと、選んだグループの頭の曲から聞くことができます。これをグループスキップといいます。



今のグループの頭に戻る。
押すごとに前のグループの頭に戻る。

次のグループの頭へ移る。
例えば、グループ1を演奏中に▲ボタンを押すと、グループ2の曲番号4の頭にスキップします。

〈お知らせ〉

- 通常の2倍の時間でモノラル録音されているMDは、自動的にモノラルで再生されます。
- データ用MDについて
データ用MDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。

ダイレクト演奏

演奏中に別の曲がダイレクトに選べます。

| | | | | | |
|------|------|-------|--------|--------|--------|
| 7 EQ | 8 MO | 9 SSM | 10 INT | 11 RPT | 12 RND |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |



・1～6曲目

数字ボタンを「ポン」と押します。

例：3曲目のとき
9 SSM



・7～12曲目

数字ボタンを1秒以上押します。

例：12曲目のとき
12 RND



・1秒以上押す。

・13曲目以上は

▶▶ボタンを併用します。

例：15曲目

12 RND

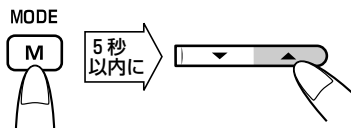


・1秒以上押す。

(3回押す)

またMODEボタンと▲(または▼)ボタンを使うと、10曲ずつダイレクトに選べます。

例：32曲入りMDのとき



01 → 10 → 20 → 30 → 32



- ・ MODEボタンを押したあと▲ボタンを押すと、このような頭出しができます。▼ボタンを押すと、逆に選べます。
- ・ 曲数が10曲に足りないときは、最後の曲が選ばれます。
- ・ ▲(または▼)ボタンをくり返して押すときは、2秒以上間隔を空けないで押してください。

MD を聞く (つづき)

リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲をくり返して聞くことができます。



・MODEボタンを押す。

・RPTボタンを押してリピート演奏のモードを選ぶ。



*グループ分けされているMDに限り表示されます。

ランダム演奏

MDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



・MODEボタンを押す。

・RNDボタンを押してランダム演奏のモードを選ぶ。



*グループ分けされているMDに限り表示されます。

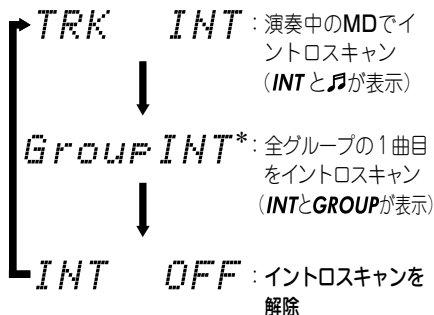
イントロスキャン

聞きたい曲が素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲が見つかったら◀◀ボタンを押します。



・MODEボタンを押す。

・INTボタンを押してイントロスキャンのモードを選ぶ。



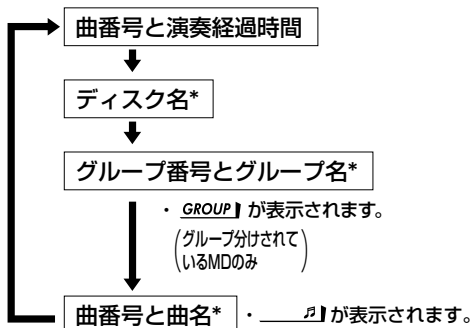
●一通りイントロスキャンが終わると解除されます。

*グループ分けされているMDに限り表示されます。

MD演奏中の表示内容を変える



DISPボタンを「ポン・ポン」と押し、表示内容を変えることができます。



・ **GROUP** が表示されます。
(グループ分けされているMDのみ)

・ **_____** が表示されます。

* 記録されていないMDでは「**NO NAME**」表示になります。

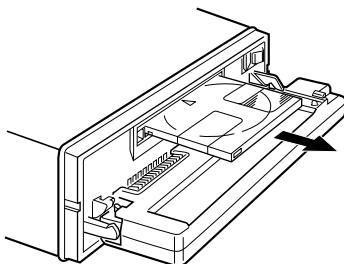
〈お知らせ〉

- ディスク名やグループ名、曲名は半角の英数字、カタカナ、記号がスクロール表示されます。DISPボタンを1秒以上押ししたときもスクロール表示されます。また曲名がスクロール表示されるとき、曲番号も表示されます。グループ名がスクロール表示されるとき、グループ番号(G01など)も表示されます。
- スクロール表示は、お買い上げ時には自動で1回スクロールする状態：**ONCE**になっています。**AUTO**(自動)または**OFF**(切)に変えることもできます(⇒29ページ参照)。
- 文字表示については、英数字・カタカナなどの半角文字が表示されます。漢字、全角文字または一部の記号などは表示されません。

MDを取り出す



▲(MD取出し)ボタンを押すと、コントロールパネルが開いてMDが出てきます。MDを入れる前のソース(音源)に戻ります。

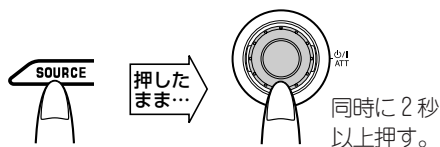


〈お知らせ〉

- エンジンキーが「OFF」のときでもMDは取り出せます。この場合、MDを取り出したあと電源が切れます。

MDの盗難防止

MDを他の人が取り出せないようにすることができます。



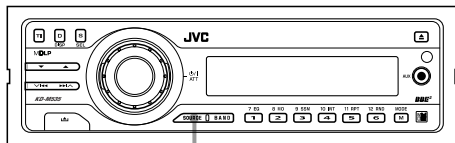
同時に2秒以上押し。

- 「**NO EJECT**」が点滅表示され、MDの取り出しができなくなります。もう一度同じ操作をすると「**EJECT OK**」が点滅表示され、MDが取り出せるようになります。

CDチェンジャー(別売り)のCDを聞く

- 準備** ● CDチェンジャー内のマガジンに聞きたいCDを入れておきます。

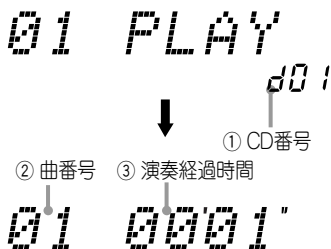
全曲演奏 (全CDのくり返し演奏)



1

1 SOURCE を押してソース(音源)を「CD-CH」にする

- 音楽用CDのとき
最初のCDの1曲目から演奏が始まります。



・ ソース(音源)を表す **CD-CH** が表示されます。

● 演奏を途中でやめる

SOURCE ボタンを押して他のソース(音源)に切替えます。
または電源を「切」にします。

- MP3ディスクのとき
ファイルチェック後、最初のCDのファイル1から演奏が始まります。



* TAG情報が記録されていないとき。

〈お知らせ〉

- MP3ディスクの項目は、MP3チェンジャーを本機に接続しているときに限ります。
- 多くの階層を持つディスクやCD-RWに記録したディスク、マルチセッションディスクでは再生が始まるまで時間がかかります。
- 階層化したフォルダのあるディスクは、8階層まで再生できます。
- 本機でコントロールできるチェンジャーについて
 - ・ CH-MPシリーズのMP3チェンジャー (CDテキスト対応)
 - ・ CH-XシリーズのCDチェンジャー (CH-X99を除く)

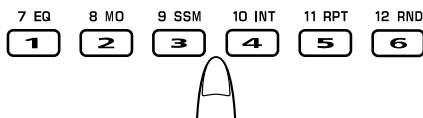
KD-MKシリーズのCDチェンジャーは、コントロールできません。

曲(ファイル)の頭出し/早送り・早戻し

| | |
|-----------------------|---|
| | |
| 曲(ファイル)の頭出し (スキップ) | ▶▶ : 押すごとに次の曲(ファイル)の頭に移ります。 ◀◀ : 演奏中の曲(ファイル)の頭に戻ります。押すごとに前の曲(ファイル)の頭に戻ります。 |
| 早送り・早戻し (サーチ) | ▶▶ : 押し続けている間早送りされます。 ◀◀ : 押し続けている間早戻しされます。 演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。 |

数字ボタンでCDを選ぶ

聞きたいCDが数字ボタンでダイレクトに選べます。選んだCDの1曲目から聞けます。



・ 1～6曲目
数字ボタンを「ポン」と押します。
例：3曲目のとき



・ 7～12曲目
数字ボタンを1秒以上押します。
例：12曲目のとき

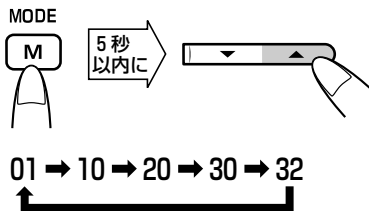


・ 1秒以上押す。

10曲ずつ選ぶ(MP3チェンジャーのみ)

MODEボタンと▲(または▼)ボタンを使うと、フォルダ内で10曲ずつダイレクトに選べます。

例：32曲入りフォルダのとき



・ MODEボタンを押したあと▲ボタンを押すと、このような頭出しができます。▼ボタンを押すと、逆に選べます。

＜お知らせ＞

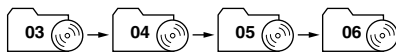
- ・ 曲数が10曲に足りないときは、最後の曲が選ばれます。
- ・ ▲(または▼)ボタンをくり返して押すときは、2秒以上間隔を空けないで押してください。

次または前のフォルダにスキップする



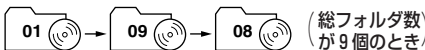
▲、▼ボタンの▲側を押すと、押すごとに、次のMP3を含むフォルダにスキップします。

例：MP3ファイルのフォルダ3を演奏中のとき



▲、▼ボタンの▼側を押すと、押すごとに、前のMP3を含むフォルダにスキップします。

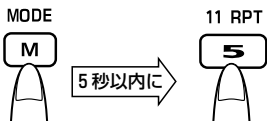
例：MP3ファイルのフォルダ1を演奏中のとき



CDチェンジャー(別売り)のCDを聞く(つづき)

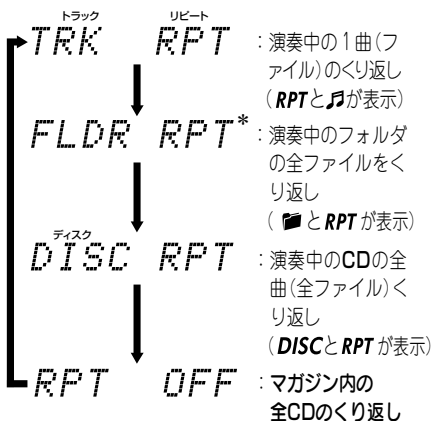
リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲をくり返して聞くことができます。



・MODEボタンを押す。

・RPTボタンを押してリピート演奏のモードを選ぶ。



*MP3チェンジャーでMP3ディスクを演奏しているときのみ

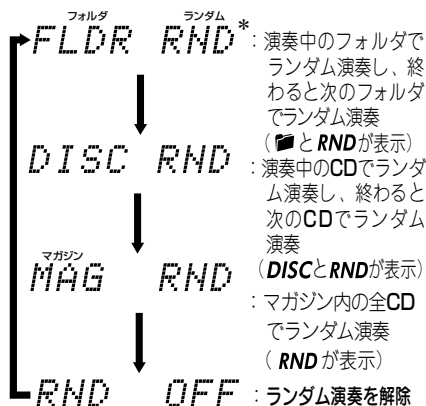
ランダム演奏

CDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



・MODEボタンを押す。

・RNDボタンを押してランダム演奏のモードを選ぶ。



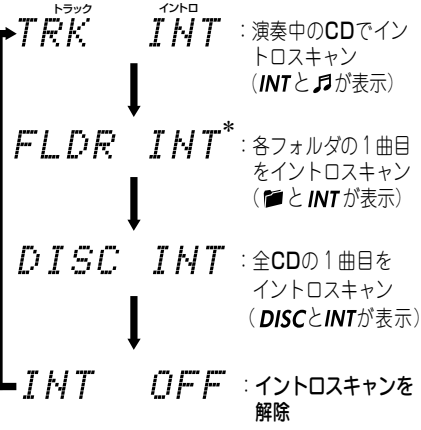
*MP3チェンジャーでMP3ディスクを演奏しているときのみ

イントロスキャン

聞きたい曲やCDが素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲またはCDが見つかったら◀◀ボタンを押します。



- ・MODEボタンを押す。
- ・INTボタンを押してイントロスキャンのモードを選ぶ。



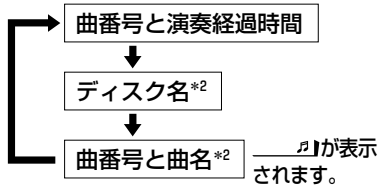
*MP3チェンジャーでMP3ディスクを演奏しているときののみ

CD演奏中の表示内容を変える

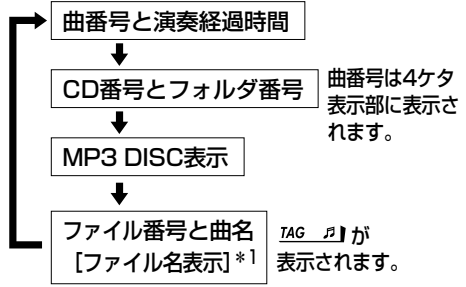


DISPボタンを押すと、表示内容を変えることができます。

●音楽用CDのとき



●MP3ディスクのID3 TAGがあるとき

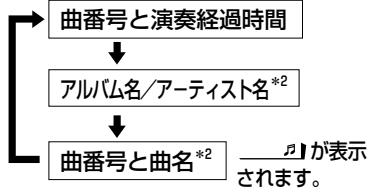


* 1 [] の表示は、ID 3 TAGがないとき (TAG) は消灯)

＜お知らせ＞

- 表示できる文字は半角英数字、カタカナです。その他の文字は正しく表示されません。

●CDテキストのとき



* 2 記録されていないときは、「NO NAME」が表示されます。

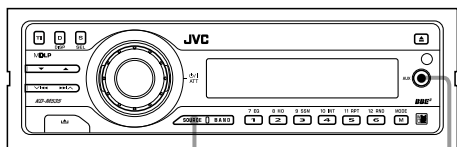
＜お知らせ＞

- 文字表示については、半角英数字が表示されます。漢字、全角文字および一部の記号などは表示されません。
- CH-X1200 で日本語のCDテキストを演奏しても、日本語は表示されません。

他の機器の音を聞く

LINE IN端子を使うとき

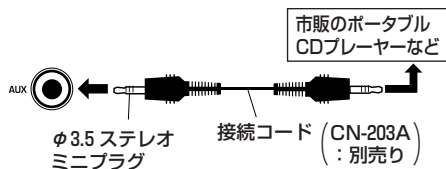
- 準備**
- 背面のLINE IN端子にカーAV機器を接続しておきます。→別紙の取付説明書参照



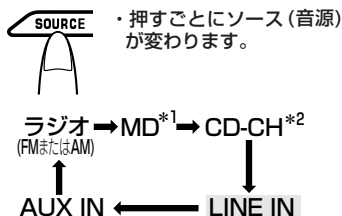
1・1 フロントAUX端子

フロントAUX端子を使うとき

- 準備**
- フロントAUX端子にポータブルCDプレーヤーなどを接続しておきます。



1 **SOURCE** を押してソース(音源)を「LINE IN(ライン入力)」にする

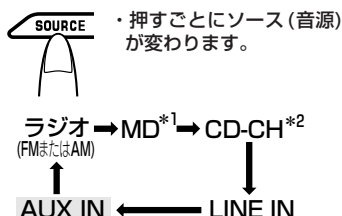


- * 1 本機にMDが入っているとき選べます。
- * 2 CDチェンジャーが接続されているとき選べます。
- ・表示窓が「LINE IN」表示に変わります。
- ・ソース(音源)を表す **LINE** が表示されます。

2 接続した機器を演奏状態にする

- ・接続した機器に音量調節があるときは、MDなどの演奏音と同じ程度に聞こえるように調節してください。
- ・LINE INの音が小さいときは、「SELボタンを使って設定を変える」の操作で「LINE ADJ」を選び入力感度を調節します(⇒ 27ページ参照)。

1 **SOURCE** を押してソース(音源)を「AUX IN(外部入力)」にする





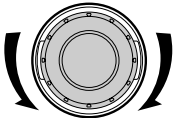
- * 1 本機にMDが入っているとき選べます。
- * 2 CDチェンジャーが接続されているとき選べます。
- ・表示窓が「AUX IN」表示に変わります。
- ・ソース(音源)を表す **AUX** が表示されます。

2 接続した機器を演奏状態にする

- ・接続した機器に音量調節があるときは、MDなどの演奏音と同じ程度に聞こえるように調節してください。
- ・フロントAUXの音が小さいときは、「SELボタンを使って設定を変える」の操作で「AUX ADJ」を選び入力感度を調節します(⇒ 27ページ参照)。

SEL ボタンを使って設定を変える

●SELボタンのモード一覧

| 1 SELボタンを 2秒以上押す  | 2 >>> (または <<<) ボタンでモードを選ぶ  逆に選べます | 3 回転ボリュームで設定する  | 参 照 ページ | | |
|--|--|---|---------------|-----------|-----------|
| <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> → CLOCK H </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> ↓ CLOCK M </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> ↓ CLK DISP </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> ↓ LEVEL </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> ↓ DIMMER </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> ↓ STATION </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> ↓ CONTRAST </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> ↓ SCROLL </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> ↓ MUTING </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> ↓ LINE ADJ </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> ↓ AUX ADJ </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> ↓ AMP. GAIN </div> </div> | 初期設定値 1 : 00 | 1 → 12 → 11 → … | 1 → 2 → 3 → … | 13 | |
| | 00 → 59 → 58 → … | 00 → 01 → 02 → … | | | |
| | DISP ON | DISP OFF | DISP ON | | 28 |
| | LEVEL 1 | LEVEL 1 ↔ LEVEL 2 ↕ ↕ OFF OFF | | | 28 |
| | AUTO | AUTO ↔ OFF ↕ ↕ ON ON | | | 28 |
| | エリア ナシ | エリア ナシ ↔ ホッカイドウ ↔ トウホク ↕ ↕ オキナワ カントウ ↕ ↕ キュウシュウ チュウブ ↕ ↕ シコク ↔ チュウゴク ↔ キンキ | | | 28 |
| | 05 | 01 ~ 10 | | | 29 |
| | ONCE | ONCE ↔ AUTO ↕ ↕ OFF OFF | | | 29 |
| | OFF | OFF ↔ MUTING 1 ↕ ↕ MUTING 2 | | | 29 |
| | L.ADJ 00 | L.ADJ 00 ~ L.ADJ 05 | | | 29 |
| | A.ADJ 00 | A.ADJ 00 ~ A.ADJ 05 | | | 29 |
| | HIGH PWR | LOW PWR | HIGH PWR | | 29 |

他の機器の音を聞く・SELボタンを使って設定を変える

SEL ボタンを使って設定を変える (つづき)

各モードの機能説明

クロック ディスプレイ CLK DISP

表示窓右下側に時計を表示させておくことができます。

- **DISP ON** : 時計を表示します。
- **DISP OFF** : 時計は表示しません。
(ソース(音源)が **LINE IN** と **AUX IN** のときは除く)
DISP ボタンを押したときだけ5秒間表示します。

ディマー DIMMER

表示窓の明るさを状況に応じて変えることができます。

- **AUTO** : 車両のライトのON/OFFに連動して明るさが変わります
(本機の「イルミネーション」コードを車両のイルミ電源に接続しておきます)
- **OFF** : 明るさは変わりません。
- **ON** : 常時暗くなります。

レベル LEVEL

表示窓左右のレベルメーターの表示内容を切替えることができます。

- **LEVEL 1** : レベルメーターが下から上に向かって振れます。
- **LEVEL 2** : レベルメーターが左右で逆に振れます。
- **OFF** : レベルメーター表示なし。

ステーション STATION

お使いになる地域の放送局を受信したとき、自動でその放送局名を表示させることができます。

- **エリアナシ** : 放送局名は表示しません。
- **ホッカイドウ、トウホク、カントウ、チュウブ、キンキ、チュウゴク、シコク、キュウシュウ、オキナワ** : ご利用の地域を選んでください。
- 地域ごとの「放送局名一覧」は **36~39** ページをご覧ください。

〈お知らせ〉

- **◀▶** ボタンを押すと **SEL** ボタンのモードは逆に選べます。
- 各操作は、15秒以上間隔を空けないでください。
- 設定ができたあとは、**SEL** ボタンを押して終了します。
SEL ボタンを押さないときは、15秒後に自動で終了します。
- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、設定した内容は初期設定に戻ります。

コントラスト

CONTRAST

表示窓のコントラストを調節することができます。
運転席から表示窓がよく見えるように調節します。

- 01～10

スクロール

SCROLL

表示窓の文字表示(8文字以上)がスクロール表示されるときモードが選べます。

- ONCE : 表示を切替えたとき1回スクロール。
- AUTO : スクロールをくり返す。
- OFF : DISP ボタンを1秒以上押したときだけスクロール。

ミュートイング

MUTING

市販のカーナビゲーションのボイスコマンド入力時または音声ガイド中に、本機の音声を一時的に消音(ミュートイング)することができます。なお、ミュートイング中、MDやCDチェンジャーの演奏は停止しません。

- MUTING 1 : ミュートイングコード(茶)を接続したあと、通常はこの設定で使います。ミュートイングが正しく作動することを確認してください。
- MUTING 2 : MUTING 1ではミュートイングが正しく動作しないときこの設定にして、ミュートイングが正しく動作することを確認してください。
- OFF : 本機能を使用しないとき。または1/2ともミュートイングが正しく動作しないとき、この設定にします。

なお、ミュートイングによって音声がでないときは、本機の表示窓に「MUTING」が点滅表示されます。

(市販の全てのナビゲーションシステムとの接続で、動作を保証するものではありません)

ライン アジャスト

LINE ADJ

LINE IN 端子の入力感度を調節することができます。

- L.ADJ 00～L.ADJ 05の範囲で調節できます。

エーユーエックス アジャスト

AUX ADJ

フロント AUX 端子の入力感度を調節することができます。

- A.ADJ 00～A.ADJ 05の範囲で調節できます。

アンプ ゲイン

AMP. GAIN

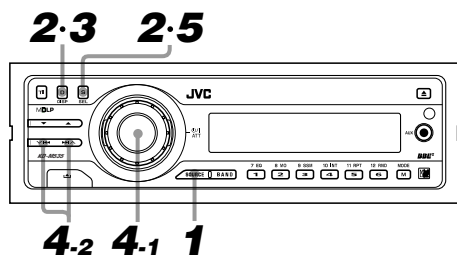
純正スピーカーを壊さないために、本機に接続したスピーカーの最大入力ワット数に合わせて切替えます。

- HIGH PWR : スピーカーの最大入力
45 Wを超えると
(VOL 00～VOL 50)
- LOW PWR : スピーカーの最大入力
45 W以下のとき
(VOL 00～VOL 30)

文字の入力のしかた

文字の入力と修正・削除

放送局名を32局分／最大8文字、LINE INは8文字まで入力できます。

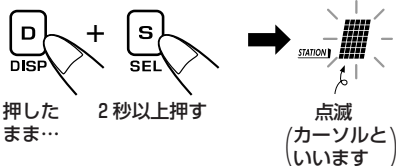


1 ソース(音源)を「ラジオ」または「LINE IN」にする

・「ラジオ」の場合、放送局を受信します。

2 DISP を押したまま SEL を同時に2秒以上押す

例：ラジオを選んだとき

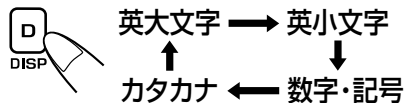


・押したまま… 2秒以上押す

点滅(カーソルといます)

30秒以内に

3 DISP で文字の種類を選ぶ



・カーソルと文字の種類の手前文字が交互に点滅表示されます。文字の種類については31ページの「文字配列表」をご覧ください。

30秒以内に

4 〇と▶◀で局名を入力する

(4-1と4-2をくり返す)



文字を逆方向に戻す

文字を順方向に進める

カーソルを戻すとき

4-1文字を選び… 4-2カーソルを右に移す

- ・文字を間違えたときは、◀◀ボタンでカーソルを戻し回転ボリュームで正しい文字を上書きします。スペース(空白)を選んで▶▶ボタンを押すと、文字を消すこともできます。
- ・「LINE IN」表示を別の名前に変更するときは、上書きで修正します。

5 SEL を押して文字を確定する



- ・全てスペース(空白)を入力し、確定すると局名を消すことができます。
- ・局名を入力したあとDISPボタンを1秒以上押したときも、全て消すことができます。このあと必ずSELボタンを押して確定してください。削除されます。

〈お知らせ〉

- ・文字を確定するときは、必ずSELボタンを押してください。押さないと確定されません。
- ・33局目の放送局名を入力すると、「NAME FULL」が表示されます。

文字配列表

●英大文字

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|------|---|---|---|
| A | B | C | D | E | F | G | H | I | J |
| K | L | M | N | O | P | Q | R | S | T |
| U | V | W | X | Y | Z | (空白) | | | |

●英小文字

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|------|---|---|---|
| a | b | c | d | e | f | g | h | i | j |
| k | l | m | n | o | p | q | r | s | t |
| u | v | w | x | y | z | (空白) | | | |

●数字・記号

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|----|------|---|---|---|---|---|
| 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| ! | ” | # | \$ | % | ’ | (|) | * | |
| + | , | - | . | / | : | ; | < | = | > |
| ? | @ | _ | ` | (空白) | | | | | |

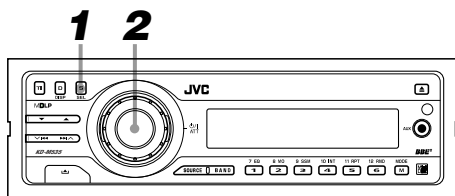
●カタカナ

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|------|---|---|---|---|---|---|
| ア | イ | ウ | エ | オ | カ | キ | ク | ケ | コ |
| サ | シ | ス | セ | ソ | タ | チ | ツ | テ | ト |
| ナ | ニ | ヌ | ネ | ノ | ハ | ヒ | フ | ヘ | ホ |
| マ | ミ | ム | メ | モ | ヤ | ユ | ヨ | | |
| ラ | リ | ル | レ | ロ | ワ | ヲ | ン | | |
| ア | イ | ウ | エ | オ | ヤ | ユ | ヨ | ツ | |
| ー | ° | ´ | (空白) | | | | | | |

〈お知らせ〉

- 本機は、この文字配列表以外の文字・記号は入力できません。

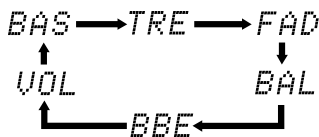
音量・音質の調節



1 SEL を押して調節したい項目を選ぶ



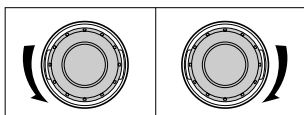
・4ケタ表示部に「SEL」が表示され「ボン・ボン」と押すごとに以下のように変わります。



・音量調節(VOL)のみのときは、回転ボリュームを直接回して調節します。

5秒以内に

2 〇を回して音量・音質を調節する



| | | |
|-----------------------------|-------------------|------------------------------------|
| BAS (低音) | 低音が減衰する | 低音が強調される |
| TRE (高音) | 高音が減衰する | 高音が強調される |
| FAD (フェーダー) | フロントの音量が下がる | リアの音量が下がる |
| BAL (バランス) | 右チャンネルの音量が下がる | 左チャンネルの音量が下がる |
| BBE (BBE ^{II}) | 通常の音質 (BBE OFF) ↔ | BBE ^{II} が表示されます (BBE ON) |
| VOL (音量) | 音量が下がる | 音量が上がる |

・調節から5秒後に、表示窓は自動で前の表示に戻ります。

●音量・音質の初期設定状態と調節範囲

| | 初期設定 | 設定範囲 |
|------------|----------|------------------------------------|
| BAS(低音) | 00(フラット) | -06~+06 |
| TRE(高音) | 00(フラット) | -06~+06 |
| FAD(フェーダー) | 00(センター) | リア R06~ ^{フロント} F06 |
| BAL(バランス) | 00(センター) | ^左 L06~ ^右 R06 |
| BBE | OFF | ON/OFF |
| VOL(音量) | 15 | 00~50* |

*「AMP. GAIN」を「LOW PWR」に設定すると00~30に変わります(→29ページ参照)。

●BBE^{II}とは・・・

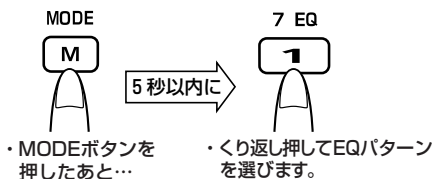
BBE^{II}とは、音の立ち上がりを速くすることにより、より自然に音の明瞭度を回復させる技術です。

そのしくみは、可聴帯域を3つに分け低域と中域の音を遅延させることにより、相対的に高域(高調波)が速く耳に到着するようにします。また低域と減衰しやすい高域を少しブーストすることにより、位相補正との相乗効果で音の立ち上がりが速く感じられ、音楽の輪郭がシャープになり生き生きしてきます。

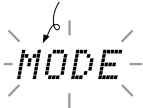
〈お知らせ〉

- フェーダー調節は、4スピーカー接続のときに限り調節してください。
- BBEは、回転ボリュームを左または右のどちらに回してもON/OFF切換えができます。
- 調節したレベルが表示窓に表示されます。

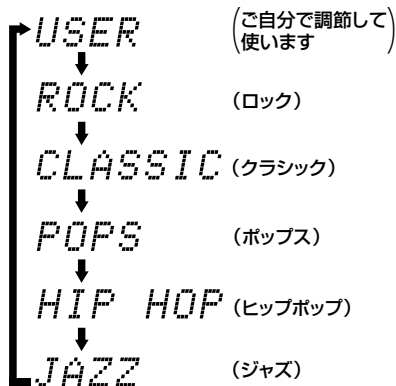
EQボタンで音質を選ぶ



「MODE」表示が点滅します。(レベルメーターがカウントダウン表示になります。)



EQ(イコライザー)ボタンを使うと、お聞きになる音楽のジャンルに合わせて音質が選べます。



〈お知らせ〉

- EQパターンを選ぶと表示窓右部分に「EQ」が表示されます。
- 「USER」は、お買い上げ時フラットな状態になっております。
- 「ROCK」と「HIP HOP」は、お買い上げ時「BBE ON」に設定されており「BBE」が表示されます。
- リモコン(RM-RK41)で操作するとき



リモコンのSOUNDボタンを押すと、EQパターンが上記の順にダイレクトに選べます。

EQのメモリー内容を変える

EQの各パターンは、お好みの音質に調節しメモリーしておくことができます。

1 ソース(音源)を選ぶ

- ・ラジオまたはMDから選びます。

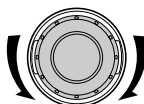
2 MODE M を押したあと 7 EQ 1 でいずれかのEQパターンを選ぶ

- ・「USER～JAZZ」のいずれかが選べます。

3 S SEL を押して「BAS」、「TRE」および「BBE」のいずれかを選ぶ

- ・現在のレベルが表示されます。

4 〇 で音質を調節する



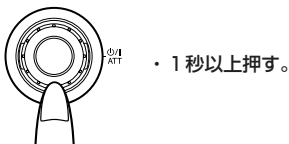
- ・手順3と4をくり返して「BAS」と「TRE」および「BBE」を調節します。

- 調節から5秒後に、表示窓は自動で前の表示に戻ります。調節したレベルが手順2で選んだEQパターンに自動的にメモリーされます。

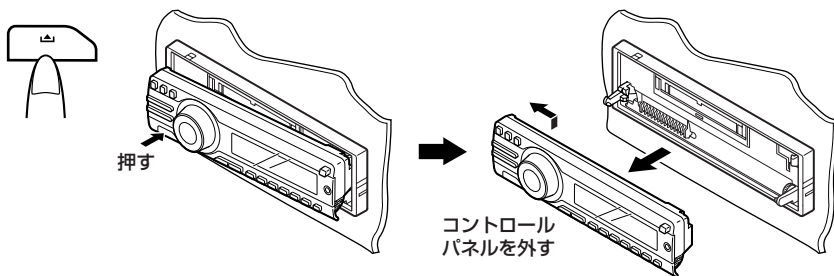
コントロールパネルの着脱

コントロールパネルを外す

1  を1秒以上押して電源を「切」にする

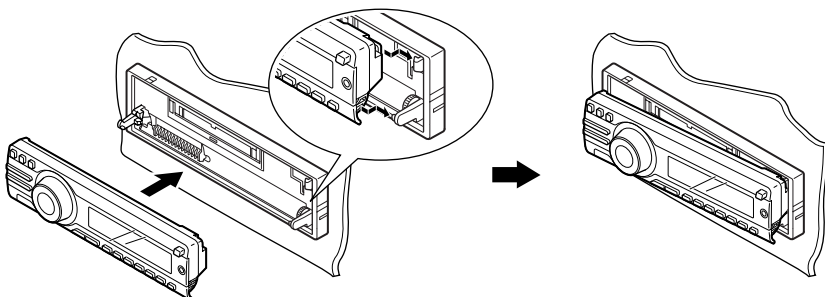


2  を押す

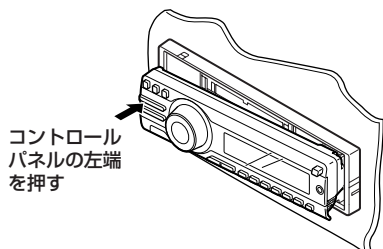


コントロールパネルを取り付ける

1 コントロールパネルの右側を本体に合わせて入れる



2 コントロールパネルの左端を「カチッ」と音がするまで押す



〈お知らせ〉

- お買い上げ時は、コントロールパネルが本体から外れています。

お手入れ

本体の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布などで**からぶ**きしてください。

汚れがひどいときは、水または**中性洗剤**を少し布につけてふき、あとは**からぶ**きしてください。

ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。



放送局名一覽

| | 放送局名 | ステーションネーム | 場所 | 周波数 |
|---------|-----------|-----------|----------|----------|
| 北海道(FM) | AIR-G' | AIR-G' | 札幌 | 80.4MHz |
| | FMノースウェーブ | ノースウェーブ | 〃 | 82.5MHz |
| | NHK-FM | NHK-FM | 〃 | 85.2MHz |
| | 〃 | 〃 | 旭川 | 85.8MHz |
| | 〃 | 〃 | 北見 | 86.0MHz |
| | 〃 | 〃 | 函館 | 87.0MHz |
| | 〃 | 〃 | 帯広 | 87.5MHz |
| | 〃 | 〃 | 室蘭 | 88.0MHz |
| | 〃 | 〃 | 釧路 | 88.5MHz |
| | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 北海道(AM) | NHK第1 | NHKダイ1 | 札幌 | 567kHz |
| | 〃 | 〃 | 釧路 | 585kHz |
| | 〃 | 〃 | 帯広 | 603kHz |
| | 〃 | 〃 | 旭川 | 621kHz |
| | STVラジオ | STVラジオ | 函館 | 639kHz |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 〃 | 675kHz |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 北見 | 702kHz |
| | 〃 | 〃 | 札幌 | 747kHz |
| | HBCラジオ | HBCラジオ | 旭川 | 864kHz |
| | 〃 | 〃 | 室蘭 | 864kHz |
| | STVラジオ | STVラジオ | 釧路 | 882kHz |
| | HBCラジオ | HBCラジオ | 函館 | 900kHz |
| | STVラジオ | STVラジオ | 網走 | 909kHz |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 室蘭 | 945kHz |
| | STVラジオ | STVラジオ | 帯広 | 1,071kHz |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 室蘭 | 1,125kHz |
| | 〃 | 〃 | 帯広 | 1,125kHz |
| | 〃 | 〃 | 釧路 | 1,152kHz |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 北見 | 1,188kHz |
| | STVラジオ | STVラジオ | 旭川 | 1,197kHz |
| HBCラジオ | HBCラジオ | 帯広 | 1,269kHz | |
| HBCラジオ | HBCラジオ | 札幌 | 1,287kHz | |
| 〃 | 〃 | 稚内 | 1,368kHz | |
| 〃 | 〃 | 釧路 | 1,404kHz | |
| STVラジオ | STVラジオ | 札幌 | 1,440kHz | |
| HBCラジオ | HBCラジオ | 網走 | 1,449kHz | |
| NHK第2 | NHKダイ2 | 函館 | 1,467kHz | |
| HBCラジオ | HBCラジオ | 名寄 | 1,494kHz | |
| NHK第2 | NHKダイ2 | 旭川 | 1,602kHz | |

| | 放送局名 | ステーションネーム | 場所 | 周波数 |
|----------|-----------|-----------|---------|----------|
| 東 | FM岩手 | FMイワテ | 盛岡 | 76.1MHz |
| | FM仙台 | Date FM | 仙台 | 77.1MHz |
| | エフエム青森 | エフエムアオモリ | 青森 | 80.0MHz |
| | FM山形 | FMヤマガタ | 山形 | 80.4MHz |
| | ふくしまFM | フクシマFM | 郡山 | 81.8MHz |
| | NHK-FM | NHK-FM | 山形 | 82.1MHz |
| | 〃 | 〃 | 仙台 | 82.5MHz |
| | FM秋田 | FMアキタ | 秋田 | 82.8MHz |
| | NHK-FM | NHK-FM | 盛岡 | 83.1MHz |
| | 〃 | 〃 | 福島 | 85.3MHz |
| 北(FM) | 〃 | 〃 | 青森 | 86.0MHz |
| | 〃 | 〃 | 秋田 | 86.7MHz |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 盛岡 | 531kHz |
| | 〃 | 〃 | 山形 | 540kHz |
| | IBC岩手放送 | IBCラジオ | 盛岡 | 684kHz |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 秋田 | 774kHz |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 仙台 | 891kHz |
| | 山形放送 | YBCラジオ | 山形 | 918kHz |
| | 秋田放送 | アキタホウソウ | 秋田 | 936kHz |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 青森 | 963kHz |
| 東 | NHK第2 | NHKダイ2 | 仙台 | 1,089kHz |
| | 青森放送 | アオモリホウソウ | 青森 | 1,233kHz |
| | 東北放送 | トウホクホウソウ | 仙台 | 1,260kHz |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 福島 | 1,323kHz |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 盛岡 | 1,386kHz |
| | ラジオ福島 | ラジオフクシマ | 福島 | 1,458kHz |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 秋田 | 1,503kHz |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 山形 | 1,521kHz |
| | AFN | AFN | 三沢 | 1,575kHz |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 福島 | 1,602kHz |
| 北(AM) | NHK第1 | NHKダイ1 | 福島 | 1,323kHz |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 盛岡 | 1,386kHz |
| | ラジオ福島 | ラジオフクシマ | 福島 | 1,458kHz |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 秋田 | 1,503kHz |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 山形 | 1,521kHz |
| | AFN | AFN | 三沢 | 1,575kHz |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 福島 | 1,602kHz |
| | インターネットFM | インターネットFM | 東京 | 76.1MHz |
| | FM栃木 | FMトチギ | 宇都宮 | 76.4MHz |
| | 放送大学 | ホウソウUNIV | 東京 | 77.1MHz |
| BAY-FM | BAY-FM | 船橋 | 78.0MHz | |
| FM-FUJI | FM-FUJI | 三ッ峠 | 78.6MHz | |
| 関東地方(FM) | 放送大学 | ホウソウUNIV | 前橋 | 78.8MHz |
| | NACK 5 | NACK 5 | さいたま | 79.5MHz |
| | TOKYO FM | TOKYO FM | 東京 | 80.0MHz |
| | NHK-FM | NHK-FM | 宇都宮 | 80.3MHz |
| | 〃 | 〃 | 千葉 | 80.7MHz |

| | 放送局名 | ステーションネーム | 場所 | 周波数 | |
|----------|--------------|--------------|----------|----------|---------|
| 関東地方(FM) | J-WAVE | J-WAVE | 東京 | 81.3MHz | |
| | NHK-FM | NHK-FM | 前橋 | 81.6MHz | |
| | 〃 | 〃 | 横浜 | 81.9MHz | |
| | 〃 | 〃 | 東京 | 82.5MHz | |
| | 〃 | 〃 | 水戸 | 83.2MHz | |
| | FMヨコハマ | FMヨコハマ | 横浜 | 84.7MHz | |
| 関東地方(AM) | NHK-FM | NHK-FM | さいたま | 85.1MHz | |
| | FM群馬 | FMグンマ | 前橋 | 86.3MHz | |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 東京 | 594kHz | |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 〃 | 693kHz | |
| | AFN | AFN | 〃 | 810kHz | |
| | TBSラジオ | TBSラジオ | 〃 | 954kHz | |
| | 文化放送 | ブンカホウソウ | 〃 | 1,134kHz | |
| | 茨城放送 | IBSラジオ | 水戸 | 1,197kHz | |
| | ニッポン放送 | ニッポンホウソウ | 東京 | 1,242kHz | |
| | ラジオ日本 | ラジオニッポン | 横浜 | 1,422kHz | |
| 中部地方(FM) | 栃木放送 | トチギホウソウ | 宇都宮 | 1,530kHz | |
| | FM福井 | FMフクイ | 福井 | 76.1MHz | |
| | FM新潟 | FMニイガタ | 新潟 | 77.5MHz | |
| | ZIP FM | ZIP FM | 名古屋 | 77.8MHz | |
| | 新潟県民エフエム | FM Port | 新潟 | 79.0MHz | |
| | K-MIX | K-MIX | 静岡 | 79.2MHz | |
| | RADIO-i | RADIO-i | 名古屋 | 79.5MHz | |
| | FM長野 | FM ナガノ | 美ヶ原 | 79.7MHz | |
| | 岐阜FM | ギフ FM | 高山 | 80.0MHz | |
| | FM石川 | FM イシカワ | 金沢 | 80.5MHz | |
| | 中部地方(AM) | FM AICHI | FMA | 名古屋 | 80.7MHz |
| | | NHK-FM | NHK-FM | 富山 | 81.5MHz |
| | | 〃 | 〃 | 金沢 | 82.2MHz |
| | | 〃 | 〃 | 新潟 | 82.3MHz |
| | | 〃 | 〃 | 名古屋 | 82.5MHz |
| | | FM とやま | FM トヤマ | 富山 | 82.7MHz |
| FM-FUJI | | FM-FUJI | 坊ヶ峰 | 83.0MHz | |
| 近畿地方(FM) | | NHK-FM | NHK-FM | 福井 | 83.4MHz |
| | | 〃 | 〃 | 岐阜 | 83.6MHz |
| | | 〃 | 〃 | 長野 | 84.0MHz |
| | | 〃 | 〃 | 甲府 | 85.6MHz |
| | | 〃 | 〃 | 静岡 | 88.8MHz |
| | | FM CO-CO-LO | CO-CO-LO | 生駒山 | 76.5MHz |
| | | E-Radio | E-Radio | 滋賀 | 77.0MHz |
| | | Kiss-FM KOBE | Kiss-FM | 姫路 | 77.6MHz |
| | | FM 三重 | FM ミエ | 津 | 78.9MHz |
| | FM 802 | FM 802 | 大阪 | 80.2MHz | |
| 近畿地方(AM) | NHK-FM | NHK-FM | 津 | 81.8MHz | |
| | 〃 | 〃 | 京都 | 82.8MHz | |
| | 〃 | 〃 | 大津 | 84.0MHz | |
| | 〃 | 〃 | 和歌山 | 84.7MHz | |
| | FM 大阪 | fm osaka | 大阪 | 85.1MHz | |
| | NHK-FM | NHK-FM | 神戸 | 86.5MHz | |
| | 〃 | 〃 | 奈良 | 87.4MHz | |
| | 〃 | 〃 | 大阪 | 88.1MHz | |
| | FM 京都 | FM キョウト | 京都 | 89.4MHz | |
| | Kiss-FM KOBE | Kiss-FM | 神戸 | 89.9MHz | |

| | 放送局名 | ステーションネーム | 場所 | 周波数 |
|--------------|----------|-----------|----------|----------|
| 中部地方(AM) | NHK第2 | NHKダイ2 | 静岡 | 639kHz |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 富山 | 648kHz |
| | 〃 | 〃 | 名古屋 | 729kHz |
| | 北日本放送 | KNBラジオ | 富山 | 738kHz |
| | YBSラジオ | YBSラジオ | 甲府 | 765kHz |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 長野 | 819kHz |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 新潟 | 837kHz |
| | 福井放送 | フクイホウソウ | 福井 | 864kHz |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 静岡 | 882kHz |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 名古屋 | 909kHz |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 福井 | 927kHz |
| | 〃 | 〃 | 甲府 | 927kHz |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 富山 | 1,035kHz |
| | CBCラジオ | CBCラジオ | 名古屋 | 1,053kHz |
| | 信越放送 | シンエツホウソウ | 長野 | 1,098kHz |
| | 近畿地方(FM) | 北陸放送 | ホクリクホウソウ | 金沢 |
| 新潟放送 | | BSNラジオ | 新潟 | 1,116kHz |
| NHK第1 | | NHKダイ1 | 金沢 | 1,224kHz |
| 東海ラジオ | | トウカイラジオ | 名古屋 | 1,332kHz |
| NHK第2 | | NHKダイ2 | 金沢 | 1,386kHz |
| 静岡放送 | | SBSラジオ | 静岡 | 1,404kHz |
| 岐阜ラジオ | | ギフラジオ | 岐阜 | 1,431kHz |
| NHK第2 | | NHKダイ2 | 長野 | 1,467kHz |
| 〃 | | 〃 | 福井 | 1,521kHz |
| 〃 | | 〃 | 新潟 | 1,593kHz |
| 〃 | | 〃 | 甲府 | 1,602kHz |
| FM CO-CO-LO | | CO-CO-LO | 生駒山 | 76.5MHz |
| E-Radio | | E-Radio | 滋賀 | 77.0MHz |
| Kiss-FM KOBE | | Kiss-FM | 姫路 | 77.6MHz |
| FM 三重 | | FM ミエ | 津 | 78.9MHz |
| FM 802 | | FM 802 | 大阪 | 80.2MHz |
| NHK-FM | NHK-FM | 津 | 81.8MHz | |
| 〃 | 〃 | 京都 | 82.8MHz | |
| 〃 | 〃 | 大津 | 84.0MHz | |
| 〃 | 〃 | 和歌山 | 84.7MHz | |
| FM 大阪 | fm osaka | 大阪 | 85.1MHz | |
| NHK-FM | NHK-FM | 神戸 | 86.5MHz | |
| 〃 | 〃 | 奈良 | 87.4MHz | |
| 〃 | 〃 | 大阪 | 88.1MHz | |
| FM 京都 | FM キョウト | 京都 | 89.4MHz | |
| Kiss-FM KOBE | Kiss-FM | 神戸 | 89.9MHz | |

放送局名一覧(つづき)

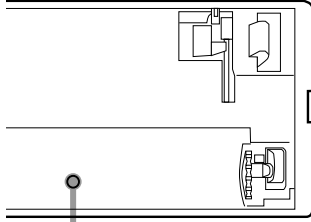
| | 放送局名 | ステーションネーム | 場所 | 周波数 | |
|----------|----------|-----------|--------|----------|----------|
| 近畿地方(AM) | AM KOBE | AM KOBE | 神戸 | 558kHz | |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 京都 | 621kHz | |
| | 〃 | 〃 | 大阪 | 666kHz | |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 大阪 | 828kHz | |
| | ABCラジオ | ABCラジオ | 〃 | 1,008kHz | |
| | KBS京都 | KBSキョウト | 京都 | 1,143kHz | |
| 中国地方(FM) | MBSラジオ | MBSラジオ | 大阪 | 1,179kHz | |
| | ラジオ大阪 | ラジオオオサカ | 〃 | 1,314kHz | |
| | 和歌山放送 | ワカヤマホウソウ | 和歌山 | 1,431kHz | |
| | 岡山エフエム放送 | FMオカヤマ | 岡山 | 76.8MHz | |
| | エフエム山陰 | エフエムサンイン | 松江 | 77.4MHz | |
| | 広島FM | ヒロシマFM | 広島 | 78.2MHz | |
| 中国地方(FM) | FM山口 | FMヤマグチ | 山口 | 79.2MHz | |
| | NHK-FM | NHK-FM | 松江 | 84.5MHz | |
| | 〃 | 〃 | 山口 | 85.3MHz | |
| | 〃 | 〃 | 鳥取 | 85.8MHz | |
| | エフエム山陰 | エフエムサンイン | 浜田 | 86.6MHz | |
| | NHK-FM | NHK-FM | 広島 | 88.3MHz | |
| | 〃 | 〃 | 岡山 | 88.7MHz | |
| | 中国地方(AM) | NHK第1 | NHKダイ1 | 岡山 | 603kHz |
| | | 〃 | 〃 | 山口 | 675kHz |
| | | NHK第2 | NHKダイ2 | 広島 | 702kHz |
| 山口放送 | | KRYラジオ | 周南 | 765kHz | |
| 山陰放送 | | サンインホウソウ | 米子 | 900kHz | |
| NHK第1 | | NHKダイ1 | 下関 | 1,026kHz | |
| 中国地方(AM) | | NHK第1 | NHKダイ1 | 広島 | 1,071kHz |
| | | NHK第2 | NHKダイ2 | 鳥取 | 1,125kHz |
| | | NHK第1 | NHKダイ1 | 松江 | 1,296kHz |
| | | 中国放送 | RCCラジオ | 広島 | 1,350kHz |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 鳥取 | 1,368kHz | |
| 九州地方(FM) | NHK第2 | NHKダイ2 | 山口 | 1,377kHz | |
| | 〃 | 〃 | 岡山 | 1,386kHz | |
| | 山陽放送 | サンヨウホウソウ | 岡山 | 1,494kHz | |
| | AFN | AFN | 岩国 | 1,575kHz | |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 松江 | 1,593kHz | |
| 四国地方(FM) | FM香川 | FMカガワ | 高松 | 78.6MHz | |
| | FM愛媛 | FMエヒメ | 高松 | 79.7MHz | |
| | FM徳島 | FMトクシマ | 徳島 | 80.7MHz | |
| | FM高知 | FMコウチ | 高知 | 81.6MHz | |
| | NHK-FM | NHK-FM | 徳島 | 83.4MHz | |

| | 放送局名 | ステーションネーム | 場所 | 周波数 | |
|----------|----------|-----------|---------|----------|---------|
| 四国地方(FM) | NHK-FM | NHK-FM | 高松 | 86.0MHz | |
| | 〃 | 〃 | 高知 | 87.5MHz | |
| | 〃 | 〃 | 松山 | 87.7MHz | |
| 四国地方(AM) | 高知放送 | コウチホウソウ | 高知 | 900kHz | |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 徳島 | 945kHz | |
| | 〃 | 〃 | 松山 | 963kHz | |
| | 〃 | 〃 | 高知 | 990kHz | |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 高松 | 1,035kHz | |
| | 南海放送 | ナンカイホウソウ | 松山 | 1,116kHz | |
| 九州地方(AM) | NHK第2 | NHKダイ2 | 高知 | 1,152kHz | |
| | 四国放送 | シコクホウソウ | 徳島 | 1,269kHz | |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 高松 | 1,368kHz | |
| | 西日本放送 | RNCラジオ | 〃 | 1,449kHz | |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 松山 | 1,512kHz | |
| | 九州地方(FM) | Love FM | Love FM | 福岡 | 76.1MHz |
| FM中九州 | | FMK | 熊本 | 77.4MHz | |
| FM佐賀 | | FMサガ | 佐賀 | 77.9MHz | |
| CROSS FM | | CROSS FM | 福岡 | 78.7MHz | |
| SMILE-FM | | SMILE-FM | 長崎 | 79.5MHz | |
| FM鹿児島 | | FMカゴシマ | 鹿児島 | 79.8MHz | |
| FM福岡 | | FMフクオカ | 福岡 | 80.7MHz | |
| 九州地方(FM) | | NHK-FM | NHK-FM | 佐賀 | 81.6MHz |
| | | FM宮崎 | FMミヤザキ | 宮崎 | 83.2MHz |
| | | NHK-FM | NHK-FM | 長崎 | 84.5MHz |
| | 〃 | 〃 | 福岡 | 84.8MHz | |
| | 〃 | 〃 | 熊本 | 85.4MHz | |
| 九州地方(FM) | NHK-FM | NHK-FM | 鹿児島 | 85.6MHz | |
| | 〃 | 〃 | 北九州 | 85.7MHz | |
| | 〃 | 〃 | 佐世保 | 86.0MHz | |
| | 〃 | 〃 | 宮崎 | 86.2MHz | |
| | FM大分 | FMオオイタ | 大分 | 88.0MHz | |
| | NHK-FM | NHK-FM | 〃 | 88.9MHz | |
| 九州地方(AM) | NHK第1 | NHKダイ1 | 宮崎 | 540kHz | |
| | 〃 | 〃 | 鹿児島 | 576kHz | |
| | 〃 | 〃 | 福岡 | 612kHz | |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 大分 | 639kHz | |
| | 〃 | 〃 | 熊崎 | 684kHz | |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 熊本 | 756kHz | |

| | 放送局名 | ステーションネーム | 場所 | 周波数 |
|------------------|--------|-----------|----------|----------|
| 九州 地方 (AM) | 宮崎放送 | MRTラジオ | 宮崎 | 936kHz |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 佐賀 | 963kHz |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 福岡 | 1,017kHz |
| | 大分放送 | オオイタハウソウ | 大分 | 1,098kHz |
| | 南日本放送 | MBCラジオ | 隼人 | 1,107kHz |
| | 熊本放送 | クマモトハウソウ | 熊本 | 1,197kHz |
| | 長崎放送 | NBCラジオ | 長崎 | 1,233kHz |
| | RKBラジオ | RKBラジオ | 福岡 | 1,278kHz |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 長崎 | 1,377kHz |
| | ◇ | ◇ | 鹿児島 | 1,386kHz |
| KBCラジオ | KBCラジオ | 福岡 | 1,413kHz | |
| NHK第2 | NHKダイ2 | 大分 | 1,467kHz | |
| ◇ | ◇ | 宮崎 | 1,467kHz | |
| AFN | AFN | 佐世保 | 1,575kHz | |
| 沖縄 (FM) | FM 沖縄 | FM オキナワ | 那覇 | 87.3MHz |
| | NHK-FM | NHK-FM | 沖縄 | 88.1MHz |
| | AFN-沖縄 | FM AFN | ◇ | 89.1MHz |
| 沖縄 (AM) | NHK第1 | NHKダイ1 | 沖縄 | 549kHz |
| | AFN | AFN | ◇ | 648kHz |
| | 琉球放送 | RBCラジオ | 那覇 | 738kHz |
| | ラジオ沖縄 | ラジオオキナワ | ◇ | 864kHz |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | ◇ | 1,125kHz |

故障かな?と思う前に

—おや?故障かな?と思ったら…修理を依頼される前にもう一度お確かめください。—

| 症 状 | 原 因 ・ 処 置 |
|--|--|
| <p>どのボタンを押しても正しく動作しない。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作している。 → コントロールパネルを外し(→34ページ参照)、ボールペンなどで軽くリセットボタンを押す。  <p>リセットボタン</p> <p>(時計の設定や放送局などのメモリー内容が取り消され、お買い上げの状態に戻ります)</p> |
| <p>電源を切っても「ATT」表示が点滅する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● ⓪/I(電源)/ATTボタンを「SEE YOU」が表示されるまで…1秒以上…押す。 |
| <p>電源が入らない。 (DISPボタンを押すと)時計は表示される)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● [電源(ACCライン)]コード(赤)が接続されていないため。 ● 車のエンジンキーが「OFF」またはACC「OFF」のため(→12ページ参照)。 |
| <p>MDの取り出しができない。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 盗難防止状態になっている。 →SOURCEボタンを押したまま⓪/I(電源)/ATTボタンを同時に2秒以上押す(→21ページ参照)。 |
| <p>MDを入れても音が出ない。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 音量を適度に調節する。 ● 内部のレンズが結露(つゆつき)している。 →ラジオを聞くなどして1~2時間待つ。 |
| <p>MDが入らない。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● MDが裏返しになっている。 →ラベル面を上にして、⇨や△の表示に従って正しく入れる。 |
| <p>MDの演奏が始まらない。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● MDの読み取りでエラーが発生したため。 →▲(MD取出し)ボタンを押したあとMDを入れ直す。または他のMDを入れ直して本機が異常でないか確かめる。 |

| 症 状 | 原 因 ・ 処 置 |
|--|---|
| 放送がうまく受信できない。 雑音が多くて聞きにくい。 AMラジオが受信できない。 | <ul style="list-style-type: none"> ● アンテナの接続を確かめる。またはアンテナが十分に伸びているか確かめる。 ● オートアンテナコントロール端子(またはアンテナブラスター電源端子)に本機の「アンテナコントロール電源コード(青)」を正しく接続する。 ● 車両側のアンテナ線からアンテナコントロール端子が出ている。 → 本機の「アンテナコントロール電源」コード(青)をこの端子に接続する。 ● 放送局の周波数に正しく合わせる。 ● 携帯電話などを本機から離す。 |
| MDの出し入れのとき音が途切れる。 | <ul style="list-style-type: none"> ● MDの出し入れのときは、音声にミュートリングをかけて雑音の発生を防いでいるため故障ではありません。 |

〈お知らせ〉

- 本機の故障や不具合等により、利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

こんな表示のときは

| 症 状 | 原 因 ・ 処 置 |
|---------------------------|---|
| HIGH TEMP | <ul style="list-style-type: none"> ● 本機の内部の温度が異常に高くなっている。 →▲(MD取出し)ボタンを押したあとラジオに切替えて温度が下がるのを待つ。 |
| NO PRE ADJ. | <ul style="list-style-type: none"> ● 雑音などの影響でプリセットデータに異常が発生している。 →お買い上げの販売店にご連絡ください。 |
| EJECT ERR | <ul style="list-style-type: none"> ● MDの取り出しができなかったとき。 →MD挿入口の障害物を取り除き▲(MD取出し)ボタンを押す。 |
| ● CDチェンジャー | |
| RESET 8 | <ul style="list-style-type: none"> ● CDチェンジャーとの通信エラーが発生したため。 →CDチェンジャーとの接続コードを確認する。 |
| RESET <small>数字</small> ○ | <ul style="list-style-type: none"> ● CDチェンジャー本体にエラーが発生したため。 →CDチェンジャーの取扱説明書の「エラーコードについて」をご覧ください。 |

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みした後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造切切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げ販売店または別紙の「JVCカーAV 製品サービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

持込修理

40～41ページの「故障かな?と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお正しく動作しないときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したMDなどのメディアも、一緒にご持参ください。

保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

| | | |
|------|---------|--------|
| 便利メモ | お買い上げ日 | |
| | お買い上げ店名 | ☎() - |

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社（以下、当社）にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
 - ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
 - ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

MDプレーヤー部

- 型 式：ミニディスクデジタルオーディオシステム
- 再生時間：再生モードSP：80分
(MD80使用時) LP2：160分
LP4：320分
- チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- 周波数特性：20Hz～20kHz
- ダイナミックレンジ：92dB
- S N 比：93dB

チューナー部

- アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクター×1
(JASOプラグ仕様)

●FMチューナー部

- 受信周波数：76.0MHz～90.0MHz
- 実用感度：14.3dBf(1.43 μ V/75 Ω)

●AMチューナー部

- 受信周波数：522kHz～1,629kHz
- 実用感度：27dB μ (22.4 μ V)

オーディオアンプ部

- 最大出力：フロント 45W+45W
(4 Ω 、1kHz)
リア 45W+45W
(4 Ω 、1kHz)
- 適合インピーダンス：4 Ω (4 Ω ～8 Ω で使用可能)
- 入力端子：DINジャック×1
LINE IN(1系統)、
1.5V/20k Ω
AUX IN(ϕ 3.5ステレオミニ)×1、
1.5V/20k Ω
- 出力端子：LINE OUT(1系統)、
2.0V/1k Ω

電源部・その他

- 電源電圧：DC14.4V(11V～16Vで使用可能)
マイナスアース専用
- 取付寸法：幅178mm×高さ50mm×奥行150mm
- 外形寸法：幅178mm×高さ50mm×奥行167mm
- 質量：約1.3kg(付属品含まず)

- 本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。
- この製品は、BBE Sound, Inc. からの実施権に基づき製造されています。
- この製品は、米国BBE Sound, Inc. の所有する特許USP5510752及び5736897を使用しています。BBEとBBEのシンボルは、BBE Sound, Inc. の登録商標です。

付属品

- ・リモコン(RM-RK41) 1
- ・電池(CR2025) 1
- ・接続コード(16ピンコネクター) 1
- ・ネジ(M5×8mm) 4
- ・皿ネジ(M5×8mm) 4

別売りのオプション品

- ・MDレンズクリーナー：CL-MLA
- ・RCA PIN コード：CN-505E(長さ0.5m)
CN-510E(長さ1m)
CN-520E(長さ2m)

- 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店で求めください。
(品番は変更されることがあります)

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のと相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに
関するご相談

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
JVCカーAV お客様ご相談センター

別紙の
「JVCカーAV 製品サービス窓口案内」を
ご覧ください。

 0120-977-846 (フリーコール)
FAX(027)254-8927

受付時間 10:00~18:00

(土、日、祝日、当社休日を除く)

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

- ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについては、42ページをご覧ください。

ビクターインターネットホームページアドレス <http://www.victor.co.jp/>

カーAVホームページアドレス <http://www.jvc-victor.co.jp/car/>

JVC

日本ビクター株式会社

AV&マルチメディアカンパニー

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12